

釜石・甲子小から東広島・小谷小へマーク寄贈

あおいニッセイ同和損保が架け橋に

岩手県釜石市立甲子(かっし)小学校(菅原正樹校長、児童260人)が、全校で集めたベルマークを、協賛会社のあおいニッセイ同和損害保険(ベルマーク番号92)を通して西日本豪雨の被災地、広島県東広島市立小谷(こだに)小学校(北村由美子校長、児童254人)に贈りました。両校間の距離は1200キロメートル超。架け橋となったのは、同社の支店や支社に勤務する社員たちでした。

甲子小の菅原校長によると、8年前の東日本大震災で同校は津波の被害こそなかったものの、自衛隊災害派遣部隊の基地や避難所として使われました。沿岸部から近くに寄り住んで同校に通う児童もいるそうです。

昨年6月、同校はあおいニッセイ同和損保からマークを寄贈され、一輪車などを買いました。これをきっかけに、菅原校長は、ベルマークを集めて同社に届けば、被災地の学校の支援に使われると知りました。環境福祉委員会の児童たちがベルマーク収集を全校に呼びか

け、4428.9点が集まりました。点数は児童と先生と一緒に数えました。

委員長の新保谷夏帆(しんぼや・かほ)さんと副委員長の島尻蒼也(しまじり・そうや)くんの6年生2人が今年2月、同社釜石支社に「被災地のために役立ててください」とマークを預けました。

釜石支社を管轄する岩手支店の当時の支店長は、預かったマークを被災校に直接寄贈することを本社に提案しました。



釜石支社にマークを持参した甲子小の島尻蒼也くんと新保谷夏帆さん。2人は今春卒業しました

マークの寄贈が子どもたちにとっても喜ばれることを実感していたからです。ベルマークが被災地同士の学校の架け橋になれば、との思いもありました。

その結果、西日本豪雨の被災地の一つ東広島市の小谷小が寄贈先に選ばれました。昨年の豪雨で近くの入野川があふれ、校庭が水浸しになり、通学路の崖が崩れて通行止めになったり、土砂が児童の家の中にまで入ったりするなどの被害があ



マークを受け取った、左から小谷小児童会副会長の横見友恵香さん、会長の寺川嬉多(うた)さん、福田彩月(さつき)さん

ったそうです。

6月25日、丸子圭一東広島支社長と広島支店業務推進スタッフの丸子恵さんが同校を訪れ、甲子小から預かったマークを贈呈しました。同小児童会の6年生3人が代表で受け取り、副会長の横見友恵香(ゆめか)さんが感謝の言葉を述べました。

「遠い岩手県の皆さんが、心配してくださっていることを知り、大変うれしかったです。いただいたベルマークは大切にに使わせていただきます」

小谷小の感謝の言葉が書かれた紙は額装され、「感謝状」として同社の手で岩手に送られ、7月に甲子小の環境福祉委員会の児童たちに手渡されました。「マークが、一つの学校に贈られたと知り、子どもたちはびっくりしていました」と菅原校長。マークを届けた6年生は春に卒業しましたが、環境委員の後輩たちは「また違う学校にマークを届け、役に立てるように、今後も活動していきたい」と話しているそうです。

18万点を栃木の大谷東小に寄贈

あおいニッセイ同和損保、全国14校に予定

あおいニッセイ同和損保は、栃木県小山市立大谷東小学校(上野直哲校長、児童913人)に180,032点のマークを寄贈しました。寄贈式が7月30日に行われ、目録、横断旗14本、反射材20枚、タフイー&ハッピー(同社のマスコットキャラクター)の絵本が手渡されました。

冒頭の挨拶で、南波靖一郎・同社栃木支店長は「日頃から地域社会に貢献できるよう、社員全員で取り組んでいます。『ベルマークサポーター』の皆さんのご協力を得て、昨年は200万点を集めました」と述べました。これに対し、上野校長は「913名の児童たちが笑顔になるように、希望を持って未来に進んでいけるように、大切にに使わせていただきます」と感謝の気持ちを伝えました。

東日本大震災後、同社はマークを収集・仕分けして寄贈することに力を入れています。これまで累計1800万点を集め、190校に寄贈してきました。今年度は大谷東小を含め、計14校にマークが寄贈される予定です。

同社には、法人企業向けの「地域AD倶楽部」という仕組みがあります。情報提供・企業交流・地域貢献という3つの柱で「地域企業」や「地方創生」を応援するもので、セミナーの開催や、企業交流会の場の提供など、様々な活動を行っています。ベルマーク運動はその中の「地域貢献」のひとつと位置付けられ、運動の趣旨に賛同してくれる「ベルマークサポーター」を募集しています。その数は5000社・団体を超え、現在も増え続けています。



南波靖一郎・同社栃木支店長(左)と上野直哲校長

NGPが「SDGs宣言」

瀬戸内・豊島の再生へオリーブ基金に寄付

協賛会社のNGP日本自動車リサイクル事業協同組合(ベルマーク番号76)は7月23日、記者会見を開き、国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」を推進する活動をスタートさせる、と発表しました。その一環として、NPO法人瀬戸内オリーブ基金を通じて瀬戸内海の豊島の環境再生に取り組むことにし、同基金に寄付金が手渡されました。

豊島は1990年代までに大量の産業廃棄物が持ち込まれ、大きな社会事件になりました。廃棄物の中で最も多

かったのが使用済み自動車の破砕くず(シュレッダーダスト)。島は今も地下水の浄化作業が続けられ、また新たな廃棄物もみつかっています。佐藤幸雄 NGP 理事長は「自動車リサイクル法ができたのも豊島事件がきっかけ。再生に少しでも貢献することが我々自動車リサイクル事業者の使命だと思った」と話しました。

NGPは今回、従来からの活動もSDGsに沿った形で整理し、ベルマーク運動への参加は「質の高い教育をみんなに」という目標として位置づけられました。



記者会見場で寄付金を手渡すNGPの佐藤幸雄理事長(左)と受け取る瀬戸内オリーブ基金の岩城裕理事長

大台達成校

7月	愛知県豊橋市	6,021,072	三河台小	福島市	3,056,530	玉川小	滋賀県草津市	2,060,238	中根小	東京都目黒区	1,006,453
新川小	愛知県豊橋市	6,021,072	土気小	千葉市緑区	3,019,836	桜井谷東小	大阪府豊中市	2,035,040	第二小	東京都東大和市	1,016,322
原小	横浜市瀬谷区	5,091,647	三和小	金沢市	3,020,630	添田小	福岡県添田町	2,024,518	南小	神奈川県秦野市	1,018,953
喜々津小	長崎県諫早市	5,002,709	長岡第五小	京都府長岡京市	3,024,217	穴生小	北九州市八幡西区	2,030,653	東山保育園	富山市	1,008,884
北網島小	横浜市港北区	4,058,666	大島小	兵庫県尼崎市	3,008,752	春日南小	福岡県春日市	2,003,627	新津小	浜松市南区	1,023,032
山室中部小	富山市	4,001,659	昭和小	香川県綾川町	3,003,054	ひなづる幼稚園	青森県鶴田町	1,012,742	鳥取中	大阪府阪南市	1,004,899
尾鷲小	三重県尾鷲市	4,023,732	早岐小	長崎県佐世保市	3,012,587	伊里前小	宮城県南三陸町	1,027,692	長尾南小	兵庫県宝塚市	1,005,104
尾鷲中	三重県尾鷲市	4,008,513	丘珠小	札幌市東区	2,002,959	栗生小	仙台市青葉区	1,048,686	中島幼稚園	岡山県倉敷市	1,002,372
西北小	長崎市	4,019,112	白山台小	青森県八戸市	2,019,250	同朋幼稚園	福島県二本松市	1,037,369	太宰府南小	福岡県太宰府市	1,000,643
磐崎小	福島県いわき市	3,023,884	あずま北小	群馬県伊勢崎市	2,017,628	成東小	千葉県山武市	1,002,310			

